

特集

安全・安心の
都市(まち)づくり

財政の情報公開と
健全化の推進

中心市街地
活性化の推進

重点課題

重点課題

つぎの3点を、当面する重点課題としてとらえます。

1 安全・安心の都市(まち)づくり

国の防衛体制見直しによる自衛隊削減問題などに積極的に対処していきます。
また、最近多発している自然災害に対し、防災対策の充実や市民一人ひとりの自主防災への意識づくりに努めます。

2 財政の情報公開と健全化の推進

千歳の未来を確かなものにするために、徹底した行財政改革に取り組み、事業の見直しによる歳出の削減・効率化を図ります。
また、市の財政状況をわかりやすい形で公開していきます。

3 中心市街地活性化の推進

中心市街地の活性化に向けて、TMO構想に基づく千歳商工会議所の具体的取組に対する支援の継続や、千歳タウンプラザ(旧エスプラザビル)のオープンに合わせて、魅力とにぎわいのある中心市街地の再生に努めます。

特集/みんなで夢・実現!

平成17年度の市政執行方針と予算

みんなが夢・実現!

平成17年度の市政執行方針と予算

基本姿勢

- 1つ、市民主体・市民協働の都市経営の推進
- 2つ、公平・公正、開かれた市政の推進
- 3つ、21☆千歳きらめきプランの推進

子育て・教育

防災対策

人材の育成

観光振興

企業誘致

重点施策

基本姿勢

今年度の市政運営は、つぎの3つを基本姿勢とします。

1 市民主体・市民協働の都市経営の推進

厳しい経済情勢や少子高齢化などが進む中で、防犯、防災、高齢者福祉など、地域が抱える課題は、増えると同時に多様化しています。これからの時代は、行政の守備範囲はどこまでか、市民の皆さんの役割はなにかを改めて問い直し、互いに協力しながら都市経営を進めます。

2 公平・公正、開かれた市政の推進

公平・公正な市政、市政の透明化を基本に、インターネット上の市のホームページや出前講

いよいよ、新年度がスタートしました。新入学生や、新社会人の方、退職後の新しい生活を迎えた方など、誰もが新しい一年間に思いを寄せざる時期です。皆さん同様、市も同じ気持ち。
この一年間、何をどうすれば、皆さんにとってより良いまちづくりができるのでしょうか。
今月の特集では、3月の市議会を経た平成17年度の「まちの方針」と「必要とするお金(予算)」などについてご紹介いたします。

座などを活用して、市政に関する情報を積極的に公開していきます。

また、市長相談日、市政懇談会、市長への手紙・ポストなどを通して、市民の皆さんの声を市政に反映すると同時に、広報ちとせの充実を図るなど、開かれた市政の推進に努めます。

3 21 千歳きらめきプランの推進

まちづくりの指針となる新長期総合計画「21 千歳きらめきプラン(平成13年度・平成22年度)」の計画を着実に進めるため、千歳の特産、資源や都市基盤を活かしながら、計画が目指す将来都市像の実現に努めます。
今年度は計画の中期です。これまでの進捗よく状況を振り返り、時代の変化を踏まえながら後半5年間の事業見直しを明らかにしていきます。

重点施策

現在進めている財政健全化対策の着実な実施を前提に、千歳の「特性・優位性・可能性」を踏まえたまちづくりの将来方向を重点施策として、つぎの5点を掲げました。

子育て・教育

少子化の時代でも、安心して子どもを産み、育て、子育てに喜びを感じることをできるよう、そして将来の千歳を担う子ども豊かな個性と生きる力を育みながら、地域ぐるみで子どもを健やかに安心して育てられる環境づくりを進めます。
そのため、「母子保健事業」、「子育て支援施設整備事業」を進め、仕事と家庭の両立支援や教育の活性化を図ります。

防災対策

地震、火山噴火や航空機事故などの災害から市民の皆さんの生命や財産を守るため、自衛隊との連携など、緊急時の協体制の充実に努めます。
また、学校など重要な公共施

人材の育成

一人ひとりの学習活動や、市民協働のまちづくりを進めていくため、市民の皆さんの自主的な活動や交流を支援し、お互いに交流・連携できるように、市民活動のネットワークづくりを進めます。
さらに、地域の人材の発掘に努め、誰もがまちの担い手となり、活力を受け継ぎ循環していく、学びあい、教え合う人材の活用と育成を図ります。
そのため、「市民活動支援事業」を行います。

企業誘致

厳しい経済環境の中で、企業誘致により雇用の機会を生みだし、魅力と活力があふれる地域社会の実現を目指します。
また、立地を容易にするため、誘致する企業の初期投資の負担軽減を図りながら、千歳の魅力と企業立地の優位性を積極的にPRします。

観光振興

国は重点施策として、各地の観光資源の掘り起こしにより、外国人の旅行者を増加させるといふ観光立国の実現、いわゆる「住んでよし、訪れてよしの国」づくりを目指しています。
こうした国の施策の動きを見極めながら、支笏湖や清流千歳川など、千歳の自然資源を活かした観光振興を積極的に進めます。
そのため、「にぎわいトライアングル創出事業」、「農村観光振興事業」や「観光PR活動推進事業」を行います。



心がかよい幸せ感じる都市づくり

【保健予防対策】健康教育・相談などの支援体制の充実、予防接種と乳幼児健診の統合、そして子どもの保護者が安心して健診をつけるための「遊び場」を会場内に設置します。さらに「ちとせ市民健康会議」を開催し、健康づくりの基本計画「(仮称)健康ちとせ21」をつくりまします。

【医療】医療の質の向上と地域における信頼性を高めるため、認証取得を目指す、市民病院の病院機能評価について、平成18年度の受審に向けて取組を強化します。

また、「地域医療連携室」を設置し、地域の医療機関との相互補完体制の強化をよりいっそう進めます。

【高齢者福祉】福祉・介護サービスの質の向上を目的に、市民、介護サービス事業者、福祉関係団体などの意見を踏まえながら

【教育の活性化と環境整備】「千歳市の教育を考える市民会議」を設置し、教育の現状と課題を踏まえ、新たな教育のあり方を検討します。

また、日の出小、祝梅小の暖房換気設備の機能更新を行うほか、千歳中・青葉中学校の教育用コンピュータを更新します。

【文化活動とスポーツの振興】市民文化センターのリニューアル工事を行います。なお、工事期間中は先月閉校した長都小中の校舎などを代替施設として活用します。

また、体育団体育成、社会体育施設の整備充実に努め、青葉陸上競技場走路の改修工事を行います。



特集 / みんなで夢・実現！平成17年度の市政執行方針と予算



主要施策と予算

平成17年度のまちづくりの施策は、新長期総合計画の5つの目標ごとに分け、それぞれが持つ項目ごとに必要な予算を振り分けています。ここではその中からおもなものをご紹介します。

【第3期千歳市高齢者保健福祉計画】と「千歳市介護保険事業計画」をつくりまします。

【障害者福祉】ケアマネジメソ体制の充実や、「地域支援会議」を活用した関係機関との連携を強化、障害のある方の地域での自立支援に努めます。

【児童福祉】子育てボランティアなどの人材育成を含め、保育所、児童館、地域子育て支援センターなどの複合的な機能を持つ「(仮称)子育て総合支援センター」の整備を進めます。



【地域情報化の推進】道内市町村と北海道がインターネットにより行政手続上の連携を図る「北海道電子自治体プラットフォーム構想」に参加し、電子自治体に向けた取組を進めます。

【道路・橋整備】南26号、33号大通などの幹線道路や生活道路の整備を計画的に進め、道路の安全性や利便性の向上に努めます。

【農業の振興】「千歳市新農業振興計画」に基づく施策を計画的に進めます。特にグリーンツーリズムを進めるにあたり、農業と観光の連携強化を図るとともに、広域的な農業振興公社の設立に向け、関係機関と協議を進めます。また、昨年の台風18

予防接種推進事業費	6,247万8千円
市民健康診査事業費	5,007万5千円
医療体制整備事業費	7,933万2千円
老人・乳幼児等医療助成費	6億3,505万6千円
高齢者・障害者福祉サービス利用券助成事業費	8,883万5千円
高齢者介護予防事業費	6,627万7千円
身体障害者日常生活支援事業費	6,794万4千円
児童手当・児童扶養手当給付事業費	7億7,031万8千円
つどいの広場整備事業費	182万円
子育て支援ガイドブック作成事業費	147万円
生活保護事業費	15億7,463万2千円
消費生活費	1億785万円
コミュニティセンター費	8,275万1千円

安全で人と地球にやさしい都市づくり

【環境の保全と資源の有効活用】住宅用太陽光発電システム設置費用の一部助成、自然環境監視員などによる監視や指導の強化や環境学習など、環境保全のための各種事業を進めます。

また、「ごみ減量やりサイクルを進める」循環型社会「づくりに向けて、市民・事業者・行政の連携・協力体制を築くよう努めます。

特に「家庭ごみの有料化」は、ごみ減量への施策として、導入に向けた取組を進めます。

【公園整備】勇舞公園、長都緑地の整備を引き続き行い、大和近隣公園の用地取得・施設整備を始めます。

【工業の振興】高度な技術力を持つ企業の集積を目指す「匠の技誘致事業」をはじめ、工業団地の貸付や市内空き工場の活用など、「初期投資軽減事業」を行います。

また、積極的な誘致活動により企業立地を促す「立地環境PR活動推進事業」を行います。

【観光の振興】「千歳市観光基本計画」に沿い、「観光振興アクションプラン」をつくりまします。

また、観光客誘導策として、道の駅「サーモンパーク千歳」やアウトレットモール「レラ」などの新たな観光拠点を活用し、市街地と結び「にぎわいトライアングル」づくりに取り組むとともに、支笏湖・農村地域などの情報発信にも努めます。

最終処分場整備事業費	6億6,400万円
公園緑地整備事業費	5億7,046万4千円
小中学校耐震化推進事業費	1,021万6千円
災害応急対策用品等整備事業費	162万3千円
高規格救急自動車購入事業費	3,039万3千円
基地周辺共同受信施設設置事業費	1億3,220万円
公営住宅建替事業費	5億7,600万円
高齢者優良賃貸住宅家賃補助事業費	1,195万2千円

【防災対策】樽前山火山噴火災害対策のほか、地震被害の想定と応急対策を新たな「千歳市地域防災計画」に取り入れるとともに、市民参加の防災訓練を実施します。

また、熱画像直視装置などの消防設備の充実を図るとともに、消防水利確保のための耐震性貯水槽を計画的に設置します。

【水道・下水道の普及】将来とも安定した水道水の供給を目指すとともに、市街地の拡大に合わせた下水道整備を進めます。また、蘭越や農村地域などの下水道未整備地域の解消を図ります。

【市営住宅の整備】将来の公営住宅などの効率的・総合的な活用を目的とする「千歳市公営住宅ストック総合活用計画」に基づき、うたり、北栄団地の建て替え工事を進めます。

【市民主体・市民協働の推進】市民や関係機関などの委員で構成された「都市経営会議」からの提言を踏まえ、市民の権利を守り、その活動をサポートするための基礎となる「市民協働推進条例」のあり方を検討します。

【行政改革】昨年11月の「第4次行政改革大綱と実施計画」に基づき、民間が公の施設を管理できる「指定管理者制度」の導入や、保育所の給食調理業務の民間委託など、民間の活力を積極的に取り入れていきます。

また、勤務意欲と高い専門性を備えた職員を育成するための「人事評価システム」の導入を検討するほか、これまで行ってきた市の全ての事務事業評価に加え、新たに「施策評価」「公共事業評価」の導入に取り組むなど、簡素で効率的な市役所づくりを目指します。

学びあい心ふれあう都市づくり

生涯学習推進事業費	297万1千円
中学校教育用コンピュータ整備事業費	1,407万円
特殊学校等就学者支援事業費	782万3千円
図書館費	5,605万8千円
体育振興費	5億4,626万2千円
市民文化センター費	1億214万2千円
市民文化センターリニューアル事業費	7億3,500万円
青少年対策費	1億7,117万5千円

魅力と活力あふれる都市づくり

バス路線確保対策補助事業費	3,398万5千円
C経路整備事業費	2億円
道路橋梁整備事業費	5億940万円
農業振興費	2,844万5千円
土地改良費	4億751万9千円
商工振興費	6億1,473万4千円
観光費	9,580万円
産業活動促進事業費	1,417万8千円
労働諸費	3,157万1千円

参加と連携による都市づくり

市民協働推進業務経費	141万1千円
第4次行政改革推進事業費	42万7千円
行政評価システム導入事業費	84万円

